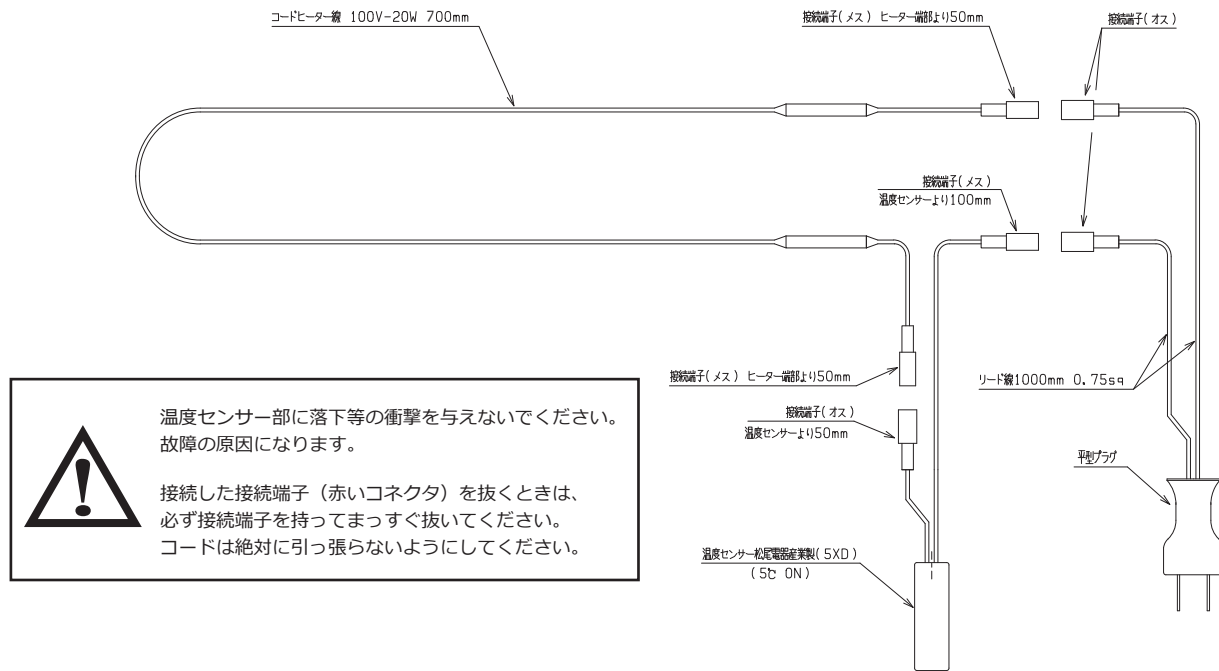
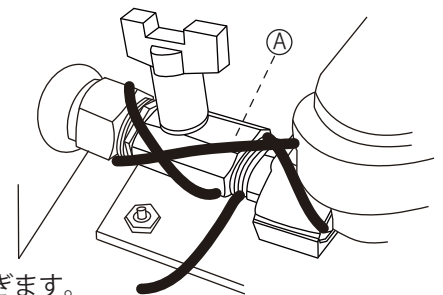
凍結防止用電気ヒーターキット　工事説明書　品番 SPD1-DH1

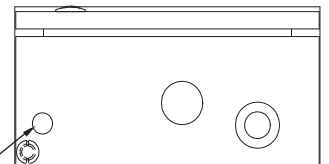
このたびはご購入いただきまして、まことにありがとうございます。工事を行うときにお読みいただき適切に工事を行ってください。

文中に示す温度は「約」となります。

外観図

特徴　寒冷地における凍結対策を行うことが出来ます。ＳＰ－ＤＲＹ専用で取付けが出来やすい商品です。
温度センサーが５℃以下を感知するとＯＮになりコードヒーター線が発熱を始め、１５℃以上でＯＦＦになります。

取付け手順

手順１　コードヒーター線をボールバルブと電動弁に巻きつけます。
ヒーター線を５回程度、ボックス内の電動弁までの間を均等に巻きます。
ボールバルブは「たすき掛け」にしてください。
（ヒーター線は重ねても問題はありません）

手順２　温度センサーの接続端子（オス）にコードヒーター線（メス）を１箇所つなぎます。
（コードヒーター線（メス）のどちらにつないでも問題はありません）

手順３　平型プラグの接続端子（オス）のリード線２本をボックスの外側より配線用穴を通過させ、温度センサーの接続端子（メス）とコードヒーター線（メス）の２箇所をつなぎます。
（平型プラグ接続端子（オス）はどちらにつないでも問題はありません）

配線用穴　　底面図

手順４　温度センサーを次の１または２の位置に貼り付けます。

１、コードヒーター線温度により ON・OFF を行うパターン（推奨）
温度センサーがコードヒーター線に触れているとコードヒーター線が１５℃になった時点でＯＦＦになり、５℃で ON になります
→ 図のⒶの位置などに貼ります

２、雰囲気温度により ON・OFF を行うパターン
雰囲気温度が１５℃以上になるまで常にＯＮの状態になります。コードヒーター線は最大で６５℃まで上昇します。
→ ボックス内側の任意の場所に貼ります

手順５　取付け後必ず配管カバーを使用してください。
（配管カバーは電動弁ユニットに付属）

手順６　平型プラグを電源 AC100V と接続します。（電気ヒーターの ON/OFF は温度によって感知します）

掲載の機器は仕様上一部変更する場合があります
Made in Japan.

spd-dh1ks-02